

**キャリアデザイン I A [前半] (選択1単位) 1年前期**  
**(機械工学科・電気電子工学科・ものづくり創造工学科)**

学生部長

**授業テーマ・内容**

- 高校生活と短大生活の違いを理解し、学生生活の目標及び目標に近づくための行動計画を作成する。
- 学問とキャリアの関わりについて考え、大学での学びの意義を理解する。

**到達目標・ねらい**

学生参加型(ワーク重視)の授業を展開していくことで、「書く」「聞く」「話す」力を身につけていく。  
 最終的に、一般常識・マナーが身につき、進路について考えられる状態になっていることをゴールとする。

**授業計画**

週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション・高校と短大の違い	高校までの生活や学問と、短大(大学)や社会との違いについて考える。大学の資源等についても紹介する。	予) シラバスを読み込んでおく。 復) 授業の振り返りを行う。
第2回	就職活動について	1年後から本格的に始まる就職活動の流れと、企業に求められることを知る。	予) テキストを読み就職活動のスケジュールを理解しておく。 復) 1年前期で行う準備について再整理する。
第3回	人とコミュニケーションをとるということ	急には身につかない「コミュニケーション」について考え、学んでいく。	予) コミュニケーション力とは何か考えてくる。 復) 授業で学んだワークを、日常で実践してみる。
第4回	自分について考える①	過去から現在まで、自分のタイムラインを振り返る。履歴書・エントリーシートについて学び、自分をどのようにアピールすればいいのか?を考えていく。	予) これまでの自分について振り返ってくる。 復) 自分の強みは何か再整理する。
第5回	自分について考える②	前回のことを踏まえ自分について見つめなおし、自己アピールのポイントを押さえる。	予) 授業で考えた自分の強みを、身近な人に伝えてみる。 復) 自分の強みを、身近な人にきちんと伝えるように伝える。
第6回	社会を知る①	社会にはどれだけの仕事、会社があるのか? 仕事に対する視野を広げる。	予) 仕事人インタビューを行ってくる。 復) 授業で習った業界についてさらに調べを深める。
第7回	社会を知る②	企業の人ほどのような人材を求めているのか? また、社会に出てから必要となる力について考える。	予) 興味を持った企業研究をしてくる。 復) 企業研究を深める。
第8回	将来について考え、大学生生活の目標を立てる	今まで学んできたことを振り返り、これからの自分について考え、行動計画表を記入する。	予) これまでの授業で考えたこと、調べたことを振り返る。 復) 就職活動に向けた行動計画表を完成させる。
第9回	まとめ	行動計画を継続するために、直前に控えた長い夏休みの過ごし方について、大切なことは自ら行動し、続けることを念頭に具体的な計画を立てる。	予) 行動計画表を、時期ごとに詳細に考える。 復) 夏休みの行動計画を完成させる。

**成績評価の方法・評価基準**

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	50%
演習課題	—%
平常点	50%

**テキスト**

「MY CAREER NOTE」  
 補足レジュメを必要に応じて配布

**参考書**

**履修条件・備考**

1年次生対象(社会人学生を除く)  
 時間厳守。必ず毎回参加し、自主的に行動すること。

**キャリアデザイン I A [前半]** (選択1単位) 1年前期  
(情報処理工学科)

学生部長

**授業テーマ・内容**

- 高校生活と短大生活の違いを理解し、学生生活の目標及び目標に近づくための行動計画を作成する。
  - 学問とキャリアの関わりについて考え、大学での学びの意義を理解する。
- なお、本講義では、毎回、講座冒頭に①挨拶強化トレーニング②自己表現の発表(複数人/30~60秒)、③前回の講義の振り返りを行う。

**到達目標・ねらい**

学生参加型(ワーク重視)の授業を展開していくことで、自分のことについて「書ける」、自分の書いたことを「話せる」、講義の問いかけをしっかりと「聞ける」力を身につけていく。  
最終的には、卒業後の進路イメージを描くことができ、「なりたい自分」の戦略づくりができる状態になることをゴールとする。

**授業計画**

週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション・高校と短大の違い	高校までの生活や学問と、短大(大学)や社会との違いについて考える。大学の資源等についても紹介する。	予)シラバスを読み込んでおく。 復)授業の振り返りを行う。
第2回	働く意味	これから、人生や仕事を充実させるためには、働くうえで何を重視していくか、自分の職業観を理解していく。	予)テキストを読み就職活動のスケジュールを理解しておく。 復)1年前期で行う準備について再整理する。
第3回	これから、必要なコミュニケーション能力	今後の就職活動、また、社会人として、どのような「コミュニケーション」能力が求められるのか、ワークを通して理解する。	予)コミュニケーション力とは何か考えてくる。 復)授業で学んだワークを、日常で実践してみる。
第4回	自分を知る	企業側の視点を知ったうえで応募書類が書けるように、その考え方書き方のポイントを理解する。	予)これまでの自分について振り返る。 復)自分の強みは何か再整理する。
第5回	自分の強みを探る	前回のことを踏まえ自分について見つめなおし、自己アピールのポイントを押さえる。	予)授業で考えた自分の強みを、身近な人に伝えてみる。 復)自分の強みシート提出。
第6回	今の自分を振り返る	自分の強みをこれから社会や仕事で、どう活かしていくか。“過去”“現在”“今後”の自分が、今後の応募先とどう繋がっていくのかワークを通して考えてみる。	予)仕事人インタビューを行ってくる。 復)自己の振り返りシート提出。
第7回	社会を知る	社会に出てから必要となる力について考える。短大の学びとの繋がりを考える。	予)興味を持った企業研究をしてくる。 復)企業研究シート提出。
第8回	応募書類の基礎知識	履歴書を一度、書きながら、自己情報を整理し、自己表現の難しさを体験する。	予)履歴書に、どんな欄があるか確認しておく。 復)履歴書を提出。
第9回	将来について考え、大学生活の目標を立てる	今まで学んできたことを振り返り、これからの自分について考え、行動計画表を記入する。	予)行動計画表を、時期ごとに考える。 復)夏休みの行動計画を完成させる。

**成績評価の方法・評価基準**

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	50%
演習課題	—%
平常点	50%

**テキスト**

「MY CAREER NOTE」  
補足レジュメを必要に応じて配布

**参考書**

**履修条件・備考**

- 1年次生対象(社会人学生を除く)
- 時間厳守。必ず毎回参加し、自主的に行動すること。
- 1回目は4月 2回目は5月中旬～

**キャリアデザイン I A [後半]** (選択1単位) 1年前期  
(全学科)

学生部長

**授業テーマ・内容**

就職活動に必要な履歴書、エントリーシートを作成する中で、言語コミュニケーション力について学ぶ。  
職務を遂行する上で必要な「書く」力を養成することによって、社会で必要となるコミュニケーションスキルの習得を目指す。  
「自分の伝えたいことを論理的に整理する」「適切な表現によって自分の考えを的確に相手に伝える」。  
こうした能力は大学生活だけでなく、就職採用試験や社会に出てからも必要となる重要な基本スキルである。  
就職活動を見据え、実際に文章を作成、個別添削を実施し、履歴書、及び自己PRを完成させる。

**到達目標・ねらい**

- 少人数制授業により、以下の目標到達を目指す。
- 文章表現技法の基本スキルを養成する。
  - 自己を分析し、今までの人生を棚卸する。
  - 履歴書・自己PRを完成させる。

**授業計画**

週	単元	内容	予習/復習
第10回	就職活動とは	就職活動全体の把握と最適な取り組み方を学ぶ。 講座の目的と主旨を説明する。	予)新聞を読む。 復)授業内容の確認。
第11回	自己分析	自己PRの文章を作るための自己を分析する。	予)自己分析表の事前作成。 復)授業内容の確認。
第12回	言語化作業の手法	自分の文章力の確認～口語と文語の違いを把握する。	予)自己分析表の完成。 復)授業内容の確認。
第13回	履歴書①	具体的記述～推敲① エピソードを膨らませる。	予)履歴書の事前作成。 復)授業内容の確認。
第14回	履歴書②	具体的記述～推敲② 無駄を削ぎ落とし、文章の濃度を上げる。	予)具体的エピソードの完成。 復)授業内容の確認。
第15回	履歴書③	具体的記述～推敲③ 構成を整える。	予)表現内容の手直し。 復)授業内容の確認。
第16回	全体考察	文章添削により、自身の履歴書・自己PRを検証する。	予)表現内容の手直し。 復)授業内容の確認。
第17回	個人指導	個別に添削し、履歴書・自己PR文章を完成する。	予)履歴書のブラッシュアップ。 復)授業内容の確認。

**成績評価の方法・評価基準**

期末試験	－%
中間試験	－%
小テスト	－%
レポート	50%
演習課題	－%
平常点	50%

**テキスト**

「就職のための文章力講座」

**参考書**

**履修条件・備考**

1年次生対象(社会人学生を除く)  
夏季休暇中の集中講義を予定している。

<b>キャリアデザイン I B</b>		(選択1単位) 1年後期	学生部長
(機械工学科・電気電子工学科・ものづくり創造工学科)			
<b>授業テーマ・内容</b>			
就職活動で必要となる「自己分析→自己PR」「業界・職種・企業研究」「エントリーシート対策」「グループ面接対策」、「個別面接対策」を、実践を交えながら抜け漏れなく行っていく。 毎回、授業冒頭に ①数名の学生「30秒ニュースプレゼン」、②小テスト、③コミュニケーションシート記入、を実施する。			
<b>到達目標・ねらい</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●“仕事＝社会で生きる”の本質を知る</li> <li>●実践を通じて、自分に不足している力を知る</li> </ul> 主に上記2点の学びを通じて「就職活動全般の流れ」を知り、自信を持って就職活動に臨めるようになることがこの授業開講の狙いとする。			
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション	講座の目的と主旨、就職活動全体の流れをイメージする。なぜキャリアを考えることが必要か、コミュニケーションを取りながら考える。	予)自分のキャリアについて考えてくる。 復)1年後期の授業準備を再整理する。
第2回	業界研究①	業界研究の進め方を知り、興味ある業種を探し、自分のやりたいことを見つける。	予)気になる業界について調べてくる。 復)課題に出された業界研究を行う。
第3回	業界研究②	業界研究をより深く、それをどのように自己PRやエントリーシート対策へつなげていくかを学ぶ。	予)業界地図を見てくる。 復)自分の気になる業界を選び研究を行う。
第4回	就職活動におけるマナー	社会人としてのマナーやルールの重要性、就職活動における心構えを押さえる。	予)職場や就職活動に必要なマナーとは何か考えておく。 復)授業で学んだ挨拶や敬語、心構えを復習しておく。
第5回	面接試験の目的	面接試験では何をしようとしているのか。その目的と、面接の形式を理解し、面接対策に求められる力を知る。	予)面接のポイントを考えてくる。 復)面接の形式ごとに、求められる対策を理解する。
第6回	自己PR仕事選択の基準	社会で求められる能力を理解し、自身の仕事選択の基準を明らかにしていく作業を行う。	予)就きたい職業に必要な力を考える。 復)就きたい職業に必要な力を理解し、何をすべきかを再整理する。
第7回	自己PR	エントリーシートの趣旨と目的を理解し、自己PR・志望動機の書き方を押さえる。	予)大学指定の履歴書の項目を理解する。 復)自己PR・志望動機を再整理する。
第8回	自己PR実践	これまでの経験を掘り下げ、「学生時代に力を入れたこと」のポイントを理解する。	予)学生時代に頑張ったことを振り返っておく。 復)自分の強みとそれがどんな場面で発揮されたかを再整理する。
第9回	キャリアビジョン	「キャリアビジョン」のポイントを理解する。	予)なりたい自分をイメージしてくる。 復)キャリアビジョンを再整理する。
第10回	エントリーシート基礎	エントリーシート・履歴書の書き方について、書式を含めきちんと理解する。	予)エントリーシートの書き方のポイントを考えてくる。 復)基本的な書き方について、忘れないように復習する。
第11回	エントリーシート実践	企業研究を深め、仮想企業に対してのエントリーシートを完成させる。	予)エントリーシートに書く内容を考えてくる。 復)志望企業へのエントリーシートをさらに深める。
第12回	面接対策に向けて①	マナーの授業を踏まえ、第一印象の重要性和、プレゼン技術を知る。	予)面接のポイントを考えてくること。 復)面接で話す自己PRを再度作り直して人に話すこと。
第13回	面接対策に向けて②	面接における基本的な質問と、過去の具体的事例への対策を知る。	予)面接で話す内容を考えてくること。 復)面接で話す志望動機を再度作り直して人に話すこと。
<b>成績評価の方法・評価基準</b>		<b>テキスト</b>	
期末試験	－%	「就職の手引き」 補足レジュメを必要に応じて配布	
中間試験	－%		
小テスト	－%		
レポート	50%		
演習課題	－%		
平常点	50%	<b>参考書</b>	
<b>履修条件・備考</b>			
キャリアデザイン IA に引き続き履修することが望ましい。1年次生対象(社会人学生を除く) 時間厳守。必ず毎回参加し、自主的に行動すること。 実施時期 10月～			

# キャリアデザイン I B (情報処理工学科)

(選択1単位) 1年後期

学生部長

教  
キ  
ャ  
リ  
ア  
育  
ア

## 授業テーマ・内容

就職活動で必要となる「自己分析→自己PR」「業界・職種・企業研究」「エントリーシート対策」「グループ面接対策」、「個別面接対策」を、実践を交えながら抜け漏れなく行っていく。  
毎回、授業冒頭に ①数名の学生「60秒自己表現発表」、②小テスト、③コミュニケーションシート記入、を実施する。

## 到達目標・ねらい

- “仕事＝社会で生きる”の本質を知る
- 実践を通じて、自分に不足している力を知る

主に上記2点の学びを通じて「就職活動全般の流れ」を知り、自信を持って就職活動に臨めるようになることがこの授業開講の狙いとする。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション	講座の目的と主旨、就職活動全体の流れをイメージする。	予)自分のキャリアについて考えてくる。 復)1年後期の授業準備を再整理する。
第2回	業界研究	業界研究の進め方を知り、興味ある業種を探し、自分のやりたいことを見つける。	予)気になる業界について調べてくる。 復)課題に出された業界研究を行う。
第3回	企業研究・仕事研究	業界研究をより深く、それをどのように自己PRやエントリーシート対策へつなげていくかを学ぶ。	予)自分の気になる企業を選び、研究を行う。 復)企業・仕事研究シート提出。
第4回	就職活動におけるマナー	社会人としてのマナーやルールの重要性、就職活動における心構えを押さえる。	予)職場や就職活動に必要なマナーとは何かを考えておく。 復)授業で学んだ挨拶や敬語、心構えを復習しておく。
第5回	面接試験の目的	面接試験では何をしようとしているのか。その目的と、面接の形式を理解し、面接対策に求められる力を知る。	予)面接のポイントを考えてくる。 復)面接の形式ごとに、求められる対策を理解する。
第6回	志望動機	企業・仕事研究をしたうえで、自分の強みがどう活かされるか、やりたい仕事は何か明確にする。	予)就きたい職業に必要な力を考える。 復)就きたい職業に必要な力を理解し、何をすべきかを再整理する。
第7回	志望動機実践	エントリーシートや履歴書に書く志望動機を検証し、課題と問題点を見出していく。	予)大学指定の履歴書の項目を理解する。 復)志望動機を中心に再整理する。
第8回	自己PR	エントリーシートの趣旨と目的を理解し、自己PR・志望動機の書き方を押さえる。	予)大学指定の履歴書の項目を理解する。 復)自己PR・その他を再整理する。
第9回	自己PR実践	PRポイントとエピソードが合致した説得力のある自己PRを作るためのポイントを復習する。	予)以前、作った自己PRをブラッシュアップさせる。 復)自己PRシート提出。
第10回	エントリーシート基礎	エントリーシート・履歴書の書き方について、書式を含めきちんと理解する。	予)エントリーシートの書き方のポイントを考えてくる。 復)基本的な書き方について、忘れないように復習する。
第11回	エントリーシート実践	企業研究を深く、仮想企業に対してのエントリーシートを完成させる。	予)エントリーシートに書く内容を考えてくる。 復)志望企業へのエントリーシートをさらに深める。
第12回	面接に向けて①	マナーの授業を踏まえ、第一印象の重要性と、プレゼン技術を知る。	予)面接のポイントを考えてくること。 復)面接で話す自己PRを再度作り直して人に話すこと。
第13回	面接に向けて②	面接における基本的な質問と、過去の具体的事例への対策を知る。	予)面接で話す内容を考えてくること。 復)面接で話す志望動機を再度作り直して人に話すこと。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	50%
演習課題	—%
平常点	50%

## テキスト

「就職の手引き」  
補足レジュメを必要に応じて配布

## 参考書

## 履修条件・備考

キャリアデザイン IA に引き続き履修することが望ましい。1 年次生対象(社会人学生を除く)  
時間厳守。必ず毎回参加し、自主的に行動すること。  
実施時期 10月～

## キャリアデザインⅡ (全学科)

(選択1単位) 1年後期

学生部長

### 授業テーマ・内容

面接にはいろいろなスタイルがある。  
グループディスカッション、集団面接、個人面接、あるいはプレゼンテーションもある。  
まずは、各面接のポイントを学び、そのうえで実践形式での授業を展開する。  
就職活動ではなんといっても面接試験が重要である。就職活動に必要な、あらゆる知識やノウハウを最終的に実践する集大成の場である。最初は大膽でも緊張するものだが、慣れることで克服することが一番の近道である。正しい言葉遣いで、自身の思いや考え方を伝えることができるまで実践形式にて体現していく。

### 到達目標・ねらい

少人数制授業により、以下の目標到達を目指す。  
●面接本番で、自分の力が発揮できることを最終目的とする。  
●実践形式での授業を展開。フィードバック等による気づき、繰り返し実践することによる慣れにより、自信をもって面接に臨めるようにする。

### 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1回	マナー実践	就職活動全体の再確認と心構えと就活マナーを実践する。	予)履歴書の完成 復)就活マナー実践
第2回	グループディスカッションⅠ	グループディスカッションの目的、及びルールを学ぶ。	予)履歴書のブラッシュアップ 復)授業内容の確認
第3回	グループディスカッションⅡ	グループディスカッションの実践、そして演習する。	予)指定業界の研究 復)授業内容の確認
第4回	面接対策の基本	面接対策の基本を学ぶ。 (先入観・固定観念からの脱却、人事の視点、採用現場の本音)	予)自己分析 復)授業内容の確認
第5回	集団面接実践①	実際の集団面接を体験する。	予)自己分析シートの完成 復)授業内容の確認
第6回	集団面接実践②	業界別に実際の集団面接を体験する。	予)自己PR練習 復)授業内容の確認
第7回	個人面接実践①	実際の個人面接を体験する。	予)自己PR練習 復)授業内容の確認
第8回	個人面接実践②	実際の個人面接を体験する。	予)想定問答練習 復)授業内容の確認

### 成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	50%
演習課題	—%
平常点	50%

### テキスト

オリジナルレジュメ

### 参考書

### 履修条件・備考

就職希望者はもちろん編入希望者も受講が望ましい。1年次生対象(社会人学生を除く)  
春季休暇中の集中講義を予定している。

# ビジネス数学

(選択1単位) 1年前期または1年後期

飯田尚紀

## 授業テーマ・内容

企業で働く場合、帳簿記入、在庫管理、販売記録など数字を使う作業が多くなる。特に、OA (Office Automation) 化やコンピュータ化が高度に進んでいる現在では、統計上の処理、数表管理などはとても大切な仕事になる。

また、経済産業省認定の IT パスポート試験においても、このような数学の分野に関連する出題があり、この資格を狙う学生は、必ず勉強をする必要がある。

さらに、最近の就職試験で実施される筆記試験でも、非言語分野として数学を中心とした能力検査試験を実施する場合も多く、それらに対する対策も必要である。

この授業では、就職活動や社内業務、IT パスポート試験受験などに必要な数学を、演習を通じて学習する。実際に問題を解きながら、解法に関する理解を深めていく方式で授業を行うので、ほぼ毎回課題がでる。

## 到達目標・ねらい

文章を数式に表現し、その解を求める演習を行う。特に、限られた時間内で問題を解く演習を行っていき、SPI3 の非言語分野の解法を会得する実践力を養う。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス 授業の進め方、e-Learning について	授業の進め方と e-Learning の使い方について	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第2週	仕事算について	テーマ(仕事算)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第3週	損益算について	テーマ(損益算)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第4週	速さ・時間・距離について	テーマ(速さ時間距離)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第5週	確率について	テーマ(確率)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第6週	中間試験(1)	中間試験	予) 試験対策実施 復) 課題実施
第7週	精算と割引料金について	テーマ(精算他)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第8週	分割払いについて	テーマ(分割払い)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第9週	図表の読み取りについて	テーマ(図表の読取)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第10週	グラフの領域・領域の形について	テーマ(グラフ他)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第11週	中間試験(2)	中間試験	予) 試験対策 復) 課題実施
第12週	論証・推論について(その1)	テーマ(論証)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第13週	論証・推論について(その2)	テーマ(推論)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第14週	集合について	テーマ(集合)別に課題を実施する。	予) 配布プリント実施 復) 課題実施
第15週	まとめと練習問題	練習問題	予) 試験対策 復) 課題実施
第16週	期末試験		

なお、授業演習の内容については、進度によって若干の前後がある。  
また、プリント配布等については、e-Learning システムを用いる予定である。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	50%
中間試験	20% が2回
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	10%

## テキスト

‘15 最新最強の SPI クリア問題集  
成美堂出版  
その他、適宜プリントを配布する。

## 参考書

## 履修条件・備考

e-Learning を用いて授業を進めていく予定なので、その使用方法がわかっていること。

企業研修 I		(選択1単位) 1年後期の定められた期間	学生部長												
<b>授業テーマ・内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職に対する意識を高める。</li> <li>・ 社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。</li> <li>・ 企業での体験学習を通じて、実際の仕事や職場の状況を知り、自己の職業適性或職業選択について深く考える契機とする。</li> <li>・ 就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。</li> <li>・ 就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。</li> </ul>															
<b>到達目標・ねらい</b> <p>企業とはどんなところなのか。また、学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、今後の就職活動に対する意識を向上させる。研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。</p>															
<b>授業計画</b> <p>事前に企業の予備調査・研究を実施し、十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、後期末試験終了後とする。</p>															
<b>成績評価の方法・評価基準</b> <table border="1"> <tr> <td>期末試験</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>中間試験</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>小テスト</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>演習問題</td> <td>－%</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>60%</td> </tr> </table>		期末試験	－%	中間試験	－%	小テスト	－%	レポート	40%	演習問題	－%	平常点	60%	<b>テキスト</b> プリントなど  <b>参考書</b>	
期末試験	－%														
中間試験	－%														
小テスト	－%														
レポート	40%														
演習問題	－%														
平常点	60%														
<b>履修条件・備考</b> <p>派遣学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。</p>															

## 企業研修Ⅱ

(選択1単位) 1年後期の定められた期間

学生部長

### 授業テーマ・内容

- ・就職に対する意識を高める。
- ・社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。
- ・企業での体験学習を通じて、実際の仕事や職場の状況を知り、自己の職業適性や職業選択について深く考える契機とする。
- ・就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。
- ・就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。

### 到達目標・ねらい

企業とはどんなところなのか。また、学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、今後の就職活動に対する意識を向上させる。研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。

### 授業計画

事前に企業の予備調査・研究を実施し、十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、後期末試験終了後とする。

### 成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	40%
演習問題	—%
平常点	60%

### テキスト

プリントなど

### 参考書

### 履修条件・備考

派遣学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。